

**答** 各見舞金の平均件数を基に算出したところ、現行制度での支給額が約1600万円、新制度での支給額が約1900万円となり、年間で約300万円の支給増となる。毎年の繰越金が300万円から400万円であることから、今回の改正においては繰越金が減少するだけで、制度自体は持続可能となるよう試算した。また、事故等の増加で突発的に支給額が増えても、基金で充分対応可能である。

**○平成24年度行田市南河原地区簡易水道事業費特別会計歳入歳出決算認定について**

**問** 平成28年度には簡易水道事業基金の残高がなくなることだが、なくなったときの対応はどう考えているのか。

**答** 方法としては行田市上水道事業との統合または、一般会計からの繰り入れの2通りが考えられるが、現在どちらが有利か検討中である。

**○平成25年度行田市一般会計補正予算について**

**問** 交通安全施設工事請負費600万円に關し、今回補正予算で対応することとなった経緯は。



長野中学校前

**答** 本工事の施工区間である進修館高校から長野中学校にかけての東側の道路は、以前から危険性を憂慮する声が地元からあがっており、今年度、交通安全対策マニュアルの作成過程において同区間の具体的な対応策としてグリーンベルトとガードパイプの設置という結論に至ったことから、当初予算の不足分600万円を今回補正するものである。

### 健康福祉常任委員会

当委員会では、付託を受けた8議案及び総務文教常任委員会から審査依頼を受けた1議案について審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

**○平成25年度行田市一般会計補正予算について**

**問** 保育士等処遇改善臨時特例事業補助金に關し、支出する範囲は。

**答** 民間保育所に勤務する保育士の給料等の改善を図り、保育の担い手の確保を推進する事業で、保育士等に一時金または4月からさかのぼって給与に加算するなどの人件費を市内9園に対し支出する。

**問** 放課後児童対策事業費に關し、現在の学童保育室の入室状況・送迎支援の状況は。

**答** 607人の定員に対して517人の入室があり、定員を超えている泉小、南小、太田西小に通う児童33人を学区外で定員に余裕のある学童保育室に送迎支援している。なお、小学校から民設保育室に送迎しているものも送迎支援の対象となる。

**○平成24年度行田市国民健康保険事業費特別会計歳入歳出決算認定について**

**問** 特定健康診査の受診率向上への対策をどのように考えているのか。

**答** これまでの取り組みに加え、受診券の発送に併せて健診の必要性や本市の健診結果の文書を同封している。また、

保健師の訪問による未受診者の受診勧奨や市報に特集記事を掲載した。

なお、平成25年度から胃カメラも選択できるようになったことも周知徹底していきたい。

**問** 毎年、増え続けている被保険者の医療費の抑制効果が見込まれるジェネリック医薬品の利用促進に關し、どのような取り組みをしてきたのか。

**答** 被保険者証の更新時に、ジェネリック医薬品希望カードと案内リーフレットを送付している。



ジェネリック医薬品希望カード

般質問の発言順序をくじにより決定しました。

また、9月2・5日には議会運営に關すること、さらに20日には追加議案等の取り扱いについて協議しました。

なお、本会議終了後に次期定例会の初日及び日程表(予定)について協議するとともに、9月定例会の総括を行いました。

### 決算審査特別委員会

議会では、委員7人で構成する決算審査特別委員会を設置し、今定例会で継続審査とした「平成24年度行田市一般会計歳入歳出決算認定について」を付託しました。

同委員会は閉会中に審査を行い、その結果を12月定例会で報告することとなります。

なお、委員の構成は次のとおりです。

- 委員長 野口 啓造
- 副委員長 大久保 忠
- 委員 二本柳妃佐子
- 委員 新井 教弘
- 委員 柿沼 貴志
- 委員 斉藤 哲夫
- 委員 大河原 梅夫

### 議会運営委員会

8月27日に9月定例会運営のための委員会を開催し、会期日程、議案の取り扱いなどを協議しました。その際、一